



令和6年4月26日

【照会先】
高知労働局 労働基準部健康安全課
健康安全課長 門脇 勲
主任地方産業安全専門官 伊勢田 文久
(直通電話) 088-885-6023

報道関係者 各位

職場における熱中症の予防について ～「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」～

高知労働局(局長 菊池 宏二)は、職場での熱中症が毎年発生していることを踏まえ、職場における熱中症予防対策の一層の推進を図るため、「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」(実施期間: 5月 1 日～9月30日・重点取組期間: 7月)を実施します。

これからの時期、高知県内では、仕事中に熱中症を発症する方が毎年複数名発生しており、対応や発見が遅れると死亡災害や重篤な災害にもつながるため、業務内容に応じた対策が必要です。

熱中症による労働災害は、毎年、気温や湿度の上昇する6月から9月にかけて発生する傾向にあり、屋外作業が多い建設業や運送業における荷の積み降ろし作業、暑熱作業のある製造業等の暑熱環境で作業を行う事業場などは特に注意が必要です。

このため、高知労働局では、下記の取組を実施し、暑さが本格化するまでに職場における熱中症対策について周知を図ることとしています。

なお、高知県内の熱中症による労働災害の発生状況は、添付資料3のとおりです。

記

- 1 熱中症が多発している建設業、製造業、運送業などの事業者団体等に対し、職場における熱中症の予防対策の徹底を要請します。
(具体的な実施事項については、添付資料2の項番 10(3ページ)参照)
- 2 高知労働局並びに各労働基準監督署では、期間中に実施する各種説明会や様々な機会を通じ、職場における熱中症の予防対策について周知を図ります。

※ 事業場における熱中症の対策や管理の指標に関しては暑さ指数(WBGT)の把握の促進が行われており、当該WBGT基準値に応じた職場における熱中症予防対策を周知することとしています。

暑さ指数(WBGT)とは、人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、気温に加え、湿度、風速、輻射(放射)熱(日射しを浴びたときに受ける熱や、地面、建物、人体などから出ている熱)を考慮した指数です。暑さ指数計で計測します。

＜高知県における発生状況＞

- ① 休業4日以上の中熱症は過去5年間で 22 人となっていますが、6 月以降毎月発生しており、最も発生件数の多い 8 月に向け急増しています。また、休業4日未満のものを含めると毎年 40～80 件発生しており、早い時期からの暑熱順化を見込んだ取組を行うことが重要です。(添付資料3・図1、3参照)
- ② 時間帯別発生状況をみると、10 時台と12 時台が最も多くなっており、一般的に気温が最も高くなる時間帯に至るまでに多くの発生が認められます。(添付資料3・図4参照)
- ③ 年齢別発生状況をみると、50 歳代が最も多くなっていますが、20 歳代から60 歳代まですべての年代で発症しており、年代にかかわらず注意が必要です。(添付資料3・図5参照)

別添資料 1 「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」(リーフレット)

別添資料 2 令和6年「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」実施要綱

別添資料 3 熱中症による労働災害発生状況(高知労働局管内の過去5年間の分析データ)